

第2回加東市教育振興基本計画策定委員会会議録

1 開会・閉会の年月日及び場所

平成22年8月12日（木）午後1時30分～午後4時00分

滝野公民館1階研修室

2 出席者

策定委員 大島委員長、堀井副委員長、吉川委員、内橋委員、鷹尾委員、安原委員、  
竹内委員、烏田委員、門脇委員、福田委員、赤松委員

事務局 村上教育部長、内藤教育総務課長、藤原学校教育課長、丸山生涯学習課長、  
大西人権教育課長、末廣中央図書館長、原主査

3 内 容

1. 開 会

2. 委員長・教育長あいさつ

3. 議 題

① 加東市教育振興基本計画（素案）について（全体）

② 各分科会のまとめ

③ その他

4. 次回の日程について

5. 閉 会

議題 ①素案について（全体会） 要約

（事務局）

基本計画の素案についてごく簡単に説明させていただきます。

「学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東」ということで、策定の背景、教育基本法の中の教育振興基本計画の条文明示、さらに国の教育振興基本計画の中身について少し説明しております。国の計画も、今後5年間総合的かつ基本的に取り組むべき施策として掲げております。

特に教育に対する社会全体の横の連携、また縦の連携の強化、一貫した理念に基づく生涯学習社会の実現等をここに明示し、「特に重点的に取り組むべき事項」として7項目を箇条書きでピックアップしております。

ひょうご教育創造プランについても、理念等を箇条書きにしております。

加東市の状況もここに書かせていただきました。

この計画の位置づけは、加東市総合計画の「未来を拓く人を育む文化のまち」、「多様なきずなが織りなす協働のまち」という基本目標に基づいて加東市の教育振興基本計画を定めるということを位置づけとしております。

策定体制は、この策定委員会を中心に議論等々していただいた後、広く市民に啓発し、またパブリック・コメントをいただき、市民の意見を反映させた分を、計画として最終的に策定し答申いたします。

計画の対象は、学校教育、社会教育です。社会教育の中に人権という大きな一つのテーマがあります。

計画の期間は、平成23年から平成27年までの5年間です。

教育をめぐる現状と課題ですが、少子高齢化社会の進展、国際化の進展、経済情勢と産業構造の変化、情報化の進展、環境問題の深刻化、価値観・ライフスタイルの多様化、家庭と地域社会の変化、厳しい財政状況下での教育行政のあり方と、ごく一般的なものを挙げており、加東市の現状と課題については殆ど盛り込んでいませんので、委員の皆様からご意見いただき、反映させていきたいと思っています。

それから、これからの加東市の教育として、「人間力の育成」を第一に挙げております。これは「加東の教育」22年度版でスローガンでもあります。

次に学校教育と生涯学習の重点項目を挙げ、以上を総論としたいと思っています。

つづいて各論として、各学校教育また社会教育等のめざす方向と施策の取組みという形で書いております。

まず、学校教育の分野に関する各論として「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康体力づくり」「安全、安心で信頼される学校づくり」と4つのテーマに分けて、会教育の分野は、「青少年の健全育成」「成人学習の充実」「芸術文化活動の振興及び実施」「文化財保護の推進と活用」「生涯スポーツの普及と振興」「効率的な施設の運営」「共に生きる社会の実現」「男女共同参画事業の推進」「図書館の充実」を各論として今後のめざす方向とそれに伴う施策ということで体系づけ、素案として提出しております。

この素案は、一つのたたき台として皆様方のご意見を頂きたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

（委員長）

各論については後ほど分科会でご討議いただきます。

ここでは総論について討議したいと思います。

加東市の教育の現状と課題がまだ素案に載せきれっていません。総論的な部分で、皆様からご意見いただきたいと思ひます。

（委員）

全体的によくまとまっていると思ひますが、一般的な部分が非常に多ひです。やはり「加東市の現状と課題」が一番大事な部分であり、完成時にはそちらの比率の方が高くなるならなければならないと思ひます。

せつかく学力面、学習週間面、体力面など調査されているので、結果をグラフ等わかりやすく提示し、そこ

から課題を探っていく。これは、既に各学校の先生方で調査結果を受けて学力向上プロジェクト委員会を立ち上げ、日々お互い研鑽を積み重ねていますので、そういう内容も総論に反映できれば良いと思います。

専門の先生方は加東市の子どものうちのどこが弱いのか掴んでおられると思います。

他の自治体の実情も合わせて考えると加東市の教育は素晴らしいです。誇れる点をアピールすることも大事だと思います。

その上で、色々な調査結果を踏まえながら課題を導き出せば、更なるステップアップが図れるとおもいます。

(委員長)

加東市の教育の現状と課題について一番重点を置くべき。全国学力テスト等の結果を踏まえたものも課題とし、具体的に挙げ、そして各論でそれを更に充実させる方法を考えていくべき。とのご意見でした。

(委員)

青少年の育成というのは本当に大事だと思います。近隣では色々と話がでてきている中、加東市では特に大きな問題が無い状況です。

加東市は少年補導センター、学校、また各種PTAなどの連携がとれていると思います。文化・スポーツに於いても、色々課題はあるものの、県下でも珍しい市規模での体育祭を催していることは非常に誇れることだと思います。

(委員長)

やはり一般的な国際化や経済状況はもちろん無視することのできない要因ですが、もう少し割愛しながら加東市の内容に厚みを持たせてほしいとですね。私もそう思います。

(委員)

この教育振興基本計画のさくていについて、私も表やグラフを入れたほうが良いと思います。西脇市の教育振興基本計画が参考になるのでは。

少子高齢化ということが一つの根底になっていますが、加東市の少子高齢化の現状がどうなっているのか等について、数字の読み取りをもう少し丁寧にして、加東市なりの少子高齢化をどうとらえるかが一番重要であると思います。

(委員長)

少子高齢化社会の進展と題して加東市の現況が示されていますが、もう少し具体的に傾向を載せてほしいということですね。

(委員)

社会教育の領域は実質的な充実はあると思いますが、私が気になるのは、兵庫教育大学の学生数は加東市の人口からすると、馬鹿にならない数だと思います。その中に定住しているが、住民票が加東市に無い学生も結構な数に上ります。こういう人たちをどう市民として把握していくかはすごく大きな課題だと思います。

特に人材活用方策ということで言うと、この人口規模でこれだけの人的資源を持っていれば、やり方によっては他市町では考えられないくらいの事ができるはずだと思います。

そういう点をどこかに盛り込んでいただきたいです。

(委員長)

定住しているが住民票を加東市に置いていない大学生の現状。しかし、この学生達は非常にレベルの高い人材ですので、その辺の様子なども入れてはどうかという意見ですね。

(委員)

この教育振興基本計画は5年をスパンにしているのですよね。先ほどありました全国学力学習状況調査の結果を現状把握の材料として使うのは大事なことだと思いますが、5年のスパンで考えて見たときに、どういうものを現在課題と踏まえ、それを5年の間にどういう形で解決していくべきなのか、そういう見通しのもとに立った現状把握も大事ではないかと思います。

そこでこの総論部分をどういう位置づけにするのかということになりますが、「策定の背景」は全体の流れがあって、国・県・加東市の内容が出てきます。しかし、一般的な課題が論じられている項目もあれば、「教育行政のあり方」の記述は「加東市では」で始まっている項目もあります。この辺の全体的な枠組みとその中での加東市の位置づけ、課題というのをうまく調整し、加東市教育振興基本計画として全体像と加東市の位置づけとの関係をどうとらえて総論、現状把握と課題ととらえて次の各論へ結びつけていくのかという大きなところも大事だと思うので、少しバランスを考え、別個「加東市の学力の現状と課題」という章を設けるのか、この中に落とし込んでいく形にするのか。もう少し整理すると、今出てきた議論についていくらか解決できるのではないのでしょうか。

(委員長)

この総論について今、数人の方にご意見を伺いましたが、他にも何かご意見がありましたらお願いいたします。

(委員)

私も「教育の現状と課題」の見方がよくわかりませんでした。加東市の」というところでよければ言わせていただくと、私も一保護者であり、知らないことも沢山ありますが、連合PTAに入っていますので、他の市町の様子などもある程度わかります。

しかし、そうでない方のほうが多いと思います。

できれば、例えば「今、学校ではこんなことをしている」とか、「PTAではこういう活動をしている」、「PTCA活動はこんなことをしている」、というような情報を共有したいと思います。

どこがどんなことをしているのか知っていただくことができれば、「こういうことなら私にもできるかもしれない」という人が増えるかもしれません。

また、「加東市を知ろう」ということで、各学校で地元のことは「ここに遺跡がある」とか「こんな良いところがある」等すごく研究されていますが、加東市全体としては、まだ枠が広がっていないのが現状だと思います。せっかく良いところが沢山あるこの加東市をもう少し知ってもらい、もっと好きになってもらえるようなことを是非、取組んでいかなければならないと思います。

(委員長)

そろそろ分科会に移る時間ですので、私のほうからまとめさせていただきます。一番重要なテーマは「加東市の教育の現状と課題」ですから、事務局に作っていただいた素案の策定の背景として全国的な状況、例えば少子高齢化、国際化、経済情勢と情報化の進展、環境問題の深刻化、価値観とライフスタイルの多様化といった辺りをひとつひとつ起こさず一つの文章にまとめてはいかがでしょうか。数人の委員さんからご意見を伺いましたけれども、その中で表れた課題をもう少ししていねいに、ページを割いて素案に載せたいということです。申し訳ありませんが、今回は10月頃を目処にと考えておりますのでそのときまでに、今のご意見を参考にしながらもう一度まとめ上げていただきたいと思います。これを事務局への課題とさせていただきます。

ただ今より各論について今から各部会に分かれていただいてご討議いただきたいと思います。「確かな学力の定着」から「安全、安心で信頼される学校づくり」までを学校教育部会、続く「青少年の健全育成」から「図書館の充実」までを社会教育部会といたします。

では事務局のほうで部会分けをお願いいたします。

(事務局)

失礼いたします。事務局のほうで、各所属ごとで判断させていただいた上振り分けを決めさせていただきました。

部会の場所でございますが、学校教育部会につきましては隣の会議室、社会教育部会につきましては2階の講座室へ、ご移動のほどよろしくお願いいたします。

(委員長)

まず部会分けについてご異議ございませんか。

— 異 議 な し —

では原案どおりで部会を開かせていただきます。現在午後2時10分、1時間半後の午後3時半までに終わっていただいてもう一度全体会をするという進行でまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

午後2時10分 一旦散会

## 議題 ②分科会のまとめ 要約

(委員長)

それでは、各分科会で話し合われた内容を報告させていただきます。まず、学校教育部会の報告をお願いします。

(委員)

学校教育部会において、先ほど協議したことをご報告させていただきます。

まず一点目、「加東市の教育の目指す姿－各論－」ですが、もちろん総論の「加東市の教育の現状と課題」からおわれてくるものである。ということの確認をしました。

しかし今年度発行の「加東の教育」をベースに作られた素案をもとに協議を進めていきました。

まず、第4章に「1. 確かな学力の定着」とありますが、その前に、「学校教育の充実」という項目を挙げる必要があるのではないか。そうすると、社会教育のほうでも「社会教育の充実」と項目を挙げたほうが明らかにできるのではないかと。という話が出ました。

次に、各全ての各論に「施策の取組み」が羅列してあるのですが、説明を少し挿入するほうがより具体的でわかりやすくなるのではないかとということと、ただ羅列ではなく加東市の特徴として強調すべき点を強調した書き方もあるのではないかとということを確認しました。

続いて学校教育の分野を、各論「1. 確かな学力の定着」から「4. 安全、安心で信頼される学校づくり」までについて、項の挙げ方や並びに、めざす方向性の文言についてのチェックを中心として進めましたので、変更点等を報告させていただきます。

まず各論1「確かな学力の定着」の7項目を点検し、次のように変更しました。

(1) 個を生かす学習指導の充実、(2) 小中連携の推進、(3) 読書指導の充実、(4) 理数教育の充実、(5) 特別指導教育の充実、(6) 情報教育の充実、(7) 就学全教育の充実、となっているのを、(1) 個を生かす学習指導の充実、(2) 読書指導の充実、(3) 理数教育の充実、(4) 情報教育の充実、(5) は新たに「国際理解教育の充実」という項目を設け、(6) 特別支援教育の充実、(7) 小中連携の推進、(8) 就学全教育の充実、の8項目とします。

11ページに戻り、(1)めざす方向の文言中に大事な特別支援教育の視点を確実に入れます。以降ページごとに進めます。11ページの(7)小中連携の推進では、この中には保幼小というところの連携も一つに含まれるのではないかと意見も出ていましたが、就学前教育の充実との絡みでどうなっていくかというところは、また次の機会に確かめます。

続いて12ページ、(6)特別支援教育の充実の施策の取組みの中に、兵庫教育大学との連携というのも入ってきます。初め総論の中で言われていた人材の大事な活用、恵まれている地域ではないかということも、ここへ入れます。

続いて各論2. 豊かな人間性の育成について、(1)心に響く道德教育の充実、(2)豊かな体験活動の実施については変更なし。「(3)地域の伝統文化を大切に作る心の育成」を、「(3)地域の伝統文化を大切に作る教育の推進」とするほうが、項の挙げ方としてはふさわしいのでは、ということ。

それから、(2)豊かな体験活動の中にキャリア教育も含めて、施策の取組みの項目に括弧書きされている学年を今のところは省略、(3)の施策の取組みの中には、加東の暮らしや加東市としてアピールすべき取組みもたくさんあるのではないかとということで、事務局にここを少し充実させて入れていただくということを確認しました。

15ページの健康体力づくりについては、項について(1)体育・運動能力の向上、(2)

食育・健康教育の推進、はそのまま、めざす方向性のところに加東市の子どもたちの運動能力についてのグラフを入れようということです。それから施策の取組みの中に、運動プログラム実践推進事業を追加します。

(2) 食育・健康教育の推進のめざす方向性の中に健康教育もあるので、養護教諭を含めた保健委員会の取組みもこの中に文言として盛り込んでいただきたいと思います。

続いて、16ページの「4. 安全、安心で信頼される学校づくり」について(1)(2)は変更なし、(3)教職員の資質と実践的指導力の向上、(4)開かれた学校づくり、とし、現行の(3)は(4)に含めます。

以上、項の挙げ方の検討や並びのチェックを中心として見ていきました。もちろん社会教育にもつながっていく部分であり、どれも取り組んでいかなければならない部分ですが、加東市の特徴としてどうここへ入れ込んでいくかというのが大きな課題だと思います。「加東の教育とは」と聞かれたときに、一体どんな柱があって、どんな目玉になるものがあるだろうと思いながら事前に私も見ていったのですが、最初の全体会のときに意見がでましたように加東の教育は、取組みとしては地道に堅実に一生懸命取り組んでいると評価できるのですが、その中の何をアピールしていくのか等を確認し、考えていくべき大事な方向性もあるのではないかとこのところで、学校教育部会の報告をさせていただきます。

(委員長)

ありがとうございました。学校教育部会の報告で訂正がありましたらどうぞ。ございませんか。

それでは社会教育部会。18ページ青少年の健全育成の上に生涯学習の充実という項を新たに起こし、青少年の健全育成へつなげたほうがいいのではないかとこのことです。また、生涯学習の名称は社会教育と訂正します。

(副委員長)

5. 青少年の健全育成(1)地域社会と共に、のめざす方向、の中の「生涯学習関係機関」を「社会教育関係機関」に訂正しました。また、施策では「たまり場の設置」という提案が出ました。(2)豊かな体験活動、についてはそのまま、(3)家庭教育の重要性、のめざす方向の3行目、「生育を支援します」を「成長を支援します」に訂正しました。

それから6. 成人学習の充実、ですが、特に働く成人男女の学習への参加が非常に厳しいという状況です。そういうことで、これを解消する方法ですが、(1)各年代に応じた学習のめざす方向、の中で、基本的なところで、高齢者を前期と中・後期というふうに区分するのは妥当か一度再考しようということで次回以降に持ち越しております。あと(2)団体活動支援は、文言について「目指します」を「支援します」と訂正し、団体の定義も曖昧なので、一度作り直すことになりました。

7. 芸術文化活動の振興及び実施、は変更なし。

8. の文化財保護の推進と活用、については現在(1)と(2)に分かれている項目を一本化して文章を練り直します。

9. 生涯スポーツの振興と普及、は変更なし。

10. 効率的な施設の運営、の中身については、幼稚園・学校施設が学校教育部門に一切挙がっていないのでそちらは分かりませんが、社会教育・体育関係施設については指定管理者制度の導入が時流としてあるので、この項は社会教育においては、特に加東市の場合必要であるという結論に達し、残しました。

次に人権教育の関係ですが、これは今年3月に市長へ提出いたしました人権尊重のまちづ

くり基本計画策定委員会で策定した計画書をもとにして作っており、内容の変更はできないということで、(5) 各種団体への人権学習の支援を推進体制の確立の中へ入れたり、11. 共に生きる社会の実現、の(1) 人権感覚を培う人権教育・啓発の①施策の取組みとして「相談支援体制の充実と窓口の整備」を入れたらどうか、とか、(3) 学習資料の提供では、加東市独自のいわゆる CATV へ人権啓発ビデオなどを提供してはどうかという意見が出ました。

12. 男女共同参画事業の推進、についても前年男女共同参画基本計画が採択されましたのでこれもそのまま。最後に社会教育の中で一番討議が深まったのは図書館の充実です。なぜなら今、図書館と言えばレファレンス事業だとか蔵書の整備・充実だとかいうことを言っていますが、時代の流れから言うと、これからの情報収集はほとんどインターネットで行われるでしょう。ですから、今までのような図書館は不必要になりつつあります。そこで、公立の図書館の戦略を今一度組み立て直さなければならないということを教えていただき、実際神戸市でも取り組んでおられるそうです。ゆえに、4つある市立図書館の役割を基本的なところから見直すという結論に至りました。具体的にどういうふうに見直すかという部分は、時間が足りなかったこともあって次回以降に持ち越すことになりました。以上社会教育部会の報告でした。

(委員長)

ご苦労さまでした。社会教育部会の報告で補足等ありましたらどうぞ。

(委員)

少年補導のことです。かつての生涯教育委員会が今の社会教育に入りまして課として学校教育課の統括下にあるので、話にちょっとついていけなかったのですが、その辺りの説明をちょっとお願いします。

(委員長)

16 ページの各論 4. 安全・安心で信頼される学校づくりの中で学校教育のほうに入っていますね。どんな問題があるのかもここに書かれています。

(委員)

その各論 4. について、最近非常に自然災害が多発しておりますが、それに対して各学校では耐震設備を整えるなど施設関係の整備に力を入れておられます。社小学校はかつて県からイエローゾーン、危険地という指定を受けていたそうです。社幼稚園から北の崖が大分前に土砂崩れを起こし、直接の被害地ということで、ある会議で指摘されてイエローゾーンに指定されたそうです。そうなりますと、地上部はしっかりしていても底にある地盤が崩れたら、いざというとき避難地にならないので、その辺りを確認しておいていただいたほうが良いと思います。

(委員長)

先ほど施設のことが出ていました。学校教育関係の施設はあまり挙がっていないというお話でしたが、確かに耐震のための施設整備を現実に行っています。そういうところも「学校安全と危機管理体制の確立」の項に盛り込むべきだと、おっしゃっていただきました。

(委員)

別件ですが、学校教育部会の報告に関して追加があります。16ページ(2)校内体制の整備の施策の取組みに「民生事業委員との連携」、「市の子育て支援課との連携」を追加いたします。

(委員長)

学校教育部会の報告の追加と、危険地域。向こう5年の耐震工事を充実させているということも、文言として受けておいてください。

(委員)

今お話を聞かせていただいた中で、安全・安心のところについて思ったことですが、加東市の耐震化は結構進んでいるほうだと思います。そこで一般の方にも分かるように、加東市になってからこれだけのことをやってきたというデータを出し、課題と今後の取り組みについて、どの分野どの項目に関しても現状と課題、また学校教育に関しては成果報告も出すべきだと思います。市になってからの4年間現場の先生方が一生懸命取り組んで来られた数々の特色ある教育があると思います。それを出していただいて、先ほどの分科会で鷹尾校長先生から、他の市町の先生方と交流させていただく中で加東市は一步進んでいるなど感じるということとお話がありました。そういうことを事務局の方は、詳しくていねいに聞き取りをして文言にして、現状と課題のところで成果として出していただく。そしてそれを検証した上で、現状の評価とこれからの課題の分析へつなげていただけたらいいなというふうに感じました。

もう一点、図にさせていただくと非常に分かりやすくいいと思うのですが、ぱっと見た瞬間気になることがありました。スペースの関係でそうってしまったと思うのですが、一番左の「家庭の役割」が小さく見えます。せめて高さは揃えたほうがいいのでは、と感じました。

(副委員長)

教育振興基本計画に直接関係するかどうか分からないけれどもという前置きで、加東市の住みやすさのランキング、これは非常に良いですが、これは何を根拠にしているのでしょうか。という意見が出ました。例えば教育環境がいいことも評価の一部になっているのでしょうか。もしなっているとすれば、そういう文言を入れれば評価が上がるのでしょうか。

(事務局)

住みやすさランキングで加東市がかなり上位に来ている項目は、まず都市公園の面積で、播磨中央公園がトップです。そして下水道の普及率です。結局ランキングを上げるのにこの辺りが大きく影響しているようです。

(委員)

今、事務局から住みよさランキングのご説明の中でハード面についてご説明いただきました。この加東市は、それだけではなくソフト面もすごく良いところです。地域に根ざした教育活動が展開できるということは、子どものためなら力を貸してくださる地域の方の思いの熱さ等、全国に誇れるものもあって、学校に勤める私たちにとって本当にありがたいことだなと思いました。

(委員長)

100歳以上の不明者が全国的に非常に多いと報じられる中、北播地区はゼロですからね。それだけ地域のつながりがしっかりしているということですね。

(委員)

一つ気になったのですが、この要綱の中に、緊急の課題である、差し迫って重要な課題である、という表現が何回も出てくるのですね。そんなにたくさん緊急の課題があるのかと思うのですが、この使い方は適切なのでしょうか。

(委員長)

まして来年からの5年間ですから、それを踏まえて今一度文言の見直しをする必要がありますね。

他に何かございませんでしょうか。私としては、今日皆様方からいただいたご意見等をもう一度事務局のほうで精査して、今度は、素案というより原案を作っていただきたいですね。一応次の委員会は10月頃と考えておりますのでその機会に私どもにご提示いただいて、それをもう一度チェックするという形にしたいと思います。今日の段階でもうちょっと議論を出しておきたいというのがありましたらお願いいたします。

(委員)

先ほどおっしゃいました家庭の役割のことですが、できましたら9ページの下のほうに家庭の教育について多く書かれていますので、参考にさせていただければと思います。

(委員長)

事務局には重荷を負わせる形になりますが、そこは今回出た意見をお汲み取りいただいて、次の機会までに原案作りをよろしくお願いいたします。続いて次回の日程をお願いいたします。

(事務局)

前回の委員会の際検討スケジュール案を提示させていただいております。これに従い第3回策定委員会は10月上旬頃として原案の調整を進めさせていただきます。またその辺りとなりますとちょうど秋祭りとかぶってきますので、各委員さん方のご都合を伺い、4日から7日の間、時間は午後1時30分から、場所はこの滝野文化会館で行いたいと思います。

以上で、第2回加東市教育振興基本計画策定委員会を閉会いたします。

午後4時09分終了